

## 拡大教授会

### ○ 報告事項

1. 総務委員会報告
2. 研究科長・学部長・研究所長合同会議等報告（総A1号）（総B2号）
3. 研究費不正使用の注意喚起（研B3号）
4. 各委員会報告
5. その他
  - ・「退職教職員送別パーティー」のお知らせについて
  - ・教養教育高度化機構シンポジウムについて
  - ・教育・研究活動での生成AI利用に関する調査への回答依頼について

## 教授会

### ○ 教員人事

退職転出等			1件
准教授	報	告	23件
教授	報	告	44件

計68件

委員会関係

教務委員会

財務委員会

教育研究経費委員会

情報基盤委員会

入試委員会

・入試業務における注意喚起

学生委員会

三鷹国際学生宿舎  
運営委員会

図書委員会

前期運営委員会

後期運営委員会

建設委員会

環境委員会

防災委員会

その他

## 拡大教授会および教授会議事要旨(案)

日時 2024年1月18日(木) 15:01~17:05  
場所 Zoom会議  
出席者 237名

(教授会に先立ち、研究倫理セミナーを実施)

### 議 題

#### ○ 報告事項

##### 1. 総務委員会報告

研究科長から、1月18日開催の総務委員会について説明・報告があった。

##### 2. 研究科長・学部長・研究所長合同会議等報告

研究科長から、1月9日開催の研究科長・学部長・研究所長合同会議について、資料(総B2号)に基づき説明・報告があった。

##### 3. 全学環境安全衛生管理室等会議・事故災害報告

環境安全管理室道上達男室長から、資料(総B3号)に基づき報告があった。

##### 4. 研究費不正使用の注意喚起

研究科長から、資料(研B4号)に基づき報告があった。

##### 5. 各委員会報告

- ・櫻井英治教務委員会委員長から、PEAK前期課程基礎科目「地球科学」の科目名変更について、資料(教B3号)に基づき報告があった。
- ・石原あえか総合文化研究科図書館長から、全学共通経費(第5期)の対象資料調査における学術雑誌のカテゴリー入替に係る調査の実施について報告があった。
- ・坪井栄治郎広報委員会委員長から、駒場「2023」原稿執筆依頼について説明があった。

##### 6. 労働基準法施行規則等の改正に伴う令和6年(2024年)4月1日以降の専門業務型裁量労働制の適用にかかる同意等の手続きについて

研究科長から、スライド資料に基づき説明があった。

##### 7. 駒場図書館II期棟PFI事業について

研究科長から、説明があった。

##### 8. その他

- ・増田建副研究科長から、駒場リベラルアーツ基金への寄付状況について説明があった。
- ・市野川容孝教授から、2023年12月21日に開催された情報セキュリティセミナーに関し、本学としての見解を確認するよう研究科長へ依頼があった。
- ・市野川容孝教授から、「関東大震災100周年にあたっての東京大学教職員声明」について賛同者を募る旨説明があった。

#### ○ 審議事項

##### 1. 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部の教員の任期に関する規則の一部改正について

月脚達彦副研究科長から、資料(総B4号)に基づき説明がなされ、審議の結果、了承された。

##### 2. 東京大学大学院総合文化研究科に置かれる講座の組織を定める内規の一部改正について

月脚達彦副研究科長から、資料(総B5号)に基づき説明がなされ、審議の結果、了承された。

##### 3. 東京大学における教員の任期に関する規則の一部改正について

月脚達彦副研究科長から、資料(総B6号)に基づき説明がなされ、審議の結果、了承された。

##### 4. 連携研究機構の設置について(芸術創造連携研究機構)

加治屋健司教授から、資料(研B3号)に基づき説明がなされ、審議の結果、了承された。

##### 5. 教養学部規則の一部を改正する規則(案)について

中澤公孝後期運営委員会委員長から、資料（教B 1号）に基づき説明がなされ、審議の結果、了承された。

6. 各学科等教務内規改正について

中澤公孝後期運営委員会委員長から、資料（教B 2号）に基づき説明がなされ、審議の結果、了承された。

7. その他

研究科長から、2024年度総務委員会及び拡大教授会開催日程等（案）について、資料（総B 7号）に基づき説明があった。

以下、教授会構成員対象の議題です。

○ 教員人事

退職転出等			1件
講師	報告		7件
准教授	報告		40件
教授	報告		81件

計129件

以上

## 議題及び資料

01 学内外情勢	総長	
(資料1) 学内外情勢		
02 東京大学とマンチェスター大学(英国)との全学学術交流協定締結 * 審議	林理事	
(資料2) 国際交流協定・覚書締結計画書(マンチェスター大学)		
03 UTokyo Visual Identity Guidelines * 審議	河村執行役	
(資料3) 3-1:新しい東京大学のブランドマーク、3-2:ロゴマークの変更およびVisual Identity Guidelineの制定について		
04 東京大学、ソウル国立大学、シカゴ大学間での量子分野での協力に関するLOI * 報告	相原理事	
(資料4) 東京大学、ソウル国立大学、シカゴ大学間での量子分野での協力に関するLOIの署名		
05 2024年度以降の東京大学一般事業主行動計画案 * 報告	林理事	
(資料5) 「次世代育成支援対策推進法」及び「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づく東京大学一般事業主行動計画の概要について		
06 本学の情報システムを利用する全構成員を対象とする情報セキュリティ教育の実施 * 報告	角田理事	
(資料6) 本学の情報システムを利用する全構成員を対象とした情報セキュリティ教育の実施について(依頼)(学内教職員限り)		
07 電話庁舎ハブサイト移転に伴うネットワーク停止 * 報告	太田理事	
(資料7) 電話庁舎ハブサイト移転に伴うネットワークの停止について(学内構成員限り)		
08 中央食堂改修期間中における昼食等の提供 * 報告	藤垣理事	
(資料8) 中央食堂改修期間中における昼食等の提供について		
09 その他	角田理事	
(1)2023年度東京大学新任部局長等研修の実施		
(資料9) 2023年度東京大学新任部局長等研修実施要項		
(2)能登町災害義援金のお願い		津田理事
(資料10)能登町災害義援金のお願い		
(3)体験型活動プログラムの報告会		津田理事
(資料11)2023年度体験型活動プログラム報告会の開催について		

## 議題及び資料

- |    |  |       |
|----|--|-------|
| 01 | 学内外情勢<br><br>(資料1) 学内外情勢   | 総長    |
| 02 | 就業規則等の改正<br><b>* 審議</b><br>(資料2) 就業規則等の改正(案)   | 角田理事  |
| 03 | 東京大学における性的指向と性自認の多様性に関する学生のための行動ガイドラインの策定<br><b>* 審議</b><br>(資料3) 3-1:「東京大学における性的指向と性自認の多様性に関する学生のための行動ガイドライン(案)」意見公募の概況、3-2:「東京大学における性的指向と性自認の多様性に関する学生のためのガイドライン(案)」意見公募の結果を踏まえた修正案、3-3:学生の通称名使用の取扱いの改定、3-4:行動ガイドライン関係スケジュール | 森山執行役 |
| 04 | 熊本県との地域連携に関する全学協定締結<br><b>* 審議</b><br>(資料4) 国立大学法人東京大学と熊本県との包括連携に関する協定書(案)   | 津田理事  |
| 05 | 東京大学における研究設備・機器の共用方針<br><b>* 審議</b><br>(資料5) 東京大学における研究設備・機器の共用方針(案)   | 岸執行役  |
| 06 | 150周年記念事業の進捗報告<br><b>* 報告</b><br>(資料6) 150周年記念事業企画調整委員会活動進捗報告  | 津田理事  |
| 07 | 連携研究機構(スポーツ先端科学連携研究機構)の変更<br><b>* 報告</b><br>(資料7) スポーツ先端科学連携研究機構の概要  | 齊藤理事  |
| 08 | 日立東大ラボ・産学協創フォーラム「第6回 Society5.0を支えるエネルギーシステムの実現に向けて」の開催<br><b>* 報告</b><br>(資料8) 8-1:日立東大ラボ・産学協創フォーラム「第6回 Society5.0を支えるエネルギーシステムの実現に向けて」(フライヤー)、8-2:日立東大ラボ・産学協創フォーラム「第6回 Society5.0を支えるエネルギーシステムの実現に向けて」(プログラム案)               | 津田理事  |
| 09 | 寄付講座、社会連携講座及び国立研究開発法人連携講座等の設置等<br><b>* 報告</b><br>(資料9) 寄付講座、社会連携講座及び国立研究開発法人連携講座等の設置等  | 齊藤理事  |
| 10 | その他<br>(1) 第4回 Beyond AI 研究推進機構 国際シンポジウムの開催<br><br>(資料10) 第4回 Beyond AI 研究推進機構 国際シンポジウム  | 齊藤理事  |

## 研究費の不正使用の注意喚起

過去に不正認定された事例に学び、不正使用とにならないように注意しましょう。

<実体のない旅費編>

名古屋大学で発生した事例

- ✖ 教員は、自ら又は学生等の出張について、申請した内容の出張を実際には全く行わなかったり、申請した用務先、出張期間、交通手段、宿泊施設と異なる出張を実際には行ったりしたにもかかわらず、申請した内容の出張報告をし、架空又は過大な旅費を支出させた。292件、11,312,228円の不正支出があった。

京都大学で発生した事例

- ✖ 教員が実際には出張していない出張旅費の支払いを受けた。平成19年12月から平成28年1月までの間、当該教員は、合計155件、11,248,802円の旅費を不正に領得していた。

久留米大学で発生した事例

- ✖ 教員は、インターネットで航空券を予約し料金を立替えて支払い、領収書が発行された後にキャンセルして払い戻しを受けていた。キャンセル前に発行していた領収書で虚偽の旅費の請求を行い、実際には行ってない出張旅費を受け取っていた。

岩手大学で発生した事例

- ✖ 教員は、自身の出張に関するカラ出張により現金を得ていた。その他、指導学生にも同様の手法で旅費を支出し、現金を手渡すように指示し還流行為を行った。

大分大学で発生した事例

- ✖ 教員は、自己都合により出張を取りやめたにもかかわらず、大学に出張取り消しの申請を行わず虚偽の報告書を提出することにより旅費を得ていた。

## 【補足】

旅費は、実態を踏まえて支給されるものです。マスコミにも、実名で大きく報道されたものがあります。

文科省 HP に記載されている過去の研究機関における不正使用事案  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/kansa/houkoku/1364929.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/kansa/houkoku/1364929.htm)



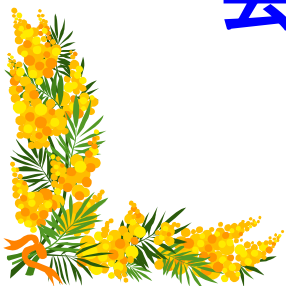
# 退職教職員送別パーティー

今年度3月で定年等により退職される教職員の方々をお送りする「退職教職員送別パーティー」を下記により開催いたします。

**日時：**令和6年3月7日(木)  
18:00～20:00(教授会終了後)

**場所：**駒場ファカルティ・ハウス セミナー室

**会費：**教授、准教授、講師・・・8,000円  
上記以外の教員 ……6,000円



東京大学の

KOMEX 2024 Symposium 教養教育高度化機構シンポジウム

# Educational Transformation

— 教養教育の質的転換 —

2023年4月、東京大学大学院総合文化研究科・  
教養学部附属教養教育高度化機構に  
Educational Transformationを冠する部門が誕生した。  
OECD Learning Compass 2030に代表される国際的な潮流や  
2022年の大学設置基準等改正など国内の教育改革の動き、  
さらに社会全体を巻き込むDigital Transformation (DX)の渦の中、  
これからの教養教育で目指すべきEducational Transformation (EX)とは何か、  
理念と実践の双方から考える。



## 2024年3月15日(金)

### 13:00～17:30 東京大学駒場Iキャンパス 18号館ホール

開催形式：ハイブリッド [会場参加 / オンライン視聴]、事前登録制 (会場参加定員：180名)

参加申し込みはこちらから：<https://www.komex.c.u-tokyo.ac.jp/symposium2024>

申し込み締め切り：2024年3月12日(火)

参加費  
無料



プログラム 総合司会：堀 まゆみ 教養教育高度化機構EX部門特任助教

13:00	開会挨拶 太田 邦史 東京大学理事・副学長、ビデオ出演
13:05	教養学部長挨拶 真船 文隆 総合文化研究科長・教養学部長
13:10	教養教育高度化機構の取り組み 原 和之 教養教育高度化機構長
13:20	<b>基調講演</b> VUCAの時代の教養教育 石井 洋二郎 中部大学特任教授
13:50	<b>基調講演</b> 教養教育高度化機構におけるEX部門の再編について 増田 建 総合文化研究科副研究科長・教養学部副学部長
14:05	休憩

14:10	<b>パネルディスカッション 第1部</b> これからの教養教育とEX ファシリテーター 中村 長史 教養教育高度化機構EX部門特任講師 パネリスト 石井 洋二郎 中部大学特任教授 増田 建 総合文化研究科副研究科長・教養学部副学部長 板津 木綿子 情報学環・学際情報学府教授 真船 文隆 総合文化研究科長・教養学部長 齋藤 希史 大学院人文社会系研究科教授 若杉 桂輔 教養教育高度化機構EX部門長
15:40	休憩・ポスターセッション
16:10	<b>パネルディスカッション 第2部</b> EXと実践の接続 ファシリテーター 松本 悠 教養教育高度化機構EX部門特任講師 パネリスト 岡田 晃枝 教養教育高度化機構EX部門特任准教授 中澤 明子 教養教育高度化機構EX部門特任准教授 鹿島 勲 教養教育高度化機構EX部門特任准教授 宮島 謙 教養教育高度化機構EX部門特任准教授
16:55	閉会挨拶 網野 徹哉 総合文化研究科教授
17:00	ポスターセッション (17:30終了)



主催・問い合わせ

東京大学大学院総合文化研究科・  
教養学部附属教養教育高度化機構(KOMEX) Educational Transformation部門  
symp@komex.c.u-tokyo.ac.jp

## 【教員対象】生成 AI に関する調査のお願い

生成 AI（ChatGPT, Bing AI, Bard など）の利用が様々な場面で行われています。教養教育高度化機構 Educational Transformation (EX)部門、GFD（グローバル・ファカルティ・ディベロップメント・イニシアチブ）では、教育・研究活動で生成 AI を利用する教員や学生を対象とした教育・学習支援の在り方を検討しています。

より具体的に教育・学習支援を検討するため、教員の皆さまの生成 AI への認識や利用状況の実態などをお尋ねしたいと考え、調査を実施いたします。調査フォームへの回答は 3～7 分程度ですので、以下よりご回答いただけますと幸いです。

- 調査フォーム：<https://forms.office.com/r/e38pqDS0C7>  
※ 回答には UTokyoAccount でのログインが必要です。
- 回答所要時間：3～7 分程度
- 回答締切：2 月 29 日（木）

調査へのご協力、どうぞよろしくお願いいたします。

問い合わせ先：

大学院総合文化研究科・教養学部附属教養教育高度化機構 EX 部門/GFD（グローバル・ファカルティ・ディベロップメント・イニシアチブ） 生成 AI 調査プロジェクト

E-mail: [gai-info@ex.c.u-tokyo.ac.jp](mailto:gai-info@ex.c.u-tokyo.ac.jp)